

豚コレラ防疫対策の推進と養豚農家に対する支援について

1 全国における豚コレラ発生状況（8月末現在）

(1) 養豚場 39 事例（岐阜 20 農場、愛知 16 農場、三重 1 農場、福井 2 農場）

愛知県豊田市の発生農場と関連した長野県、愛知県、滋賀県、大阪府でも発生

※7月以降に発生した11農場は、発生農場の3km以内の移動制限区域内にある農場

または、野生イノシシ陽性確認地点から10km以内にある監視対象となっていた農場

(2) 野生イノシシ 1,069 頭/3,664 頭（8月末現在、陽性頭数/検査頭数）

岐阜県 871 頭/1,982 頭	愛知県 89 頭/1,058 頭	三重県 4 頭/141 頭
福井県 9 頭/51 頭	富山県 5 頭/54 頭	石川県 4 頭/107 頭
長野県 87 頭/271 頭	うち南信州地域 2 頭/39 頭（捕獲 32 頭、死亡 7 頭）	

○南信州地域振興局管内の状況

阿智村 0/24 頭、根羽村 2/11 頭、平谷村 0/2 頭、下條村 0/1 頭、高森町 0/1 頭

2 野生イノシシのウイルス感染確認検査の状況（8月末現在）

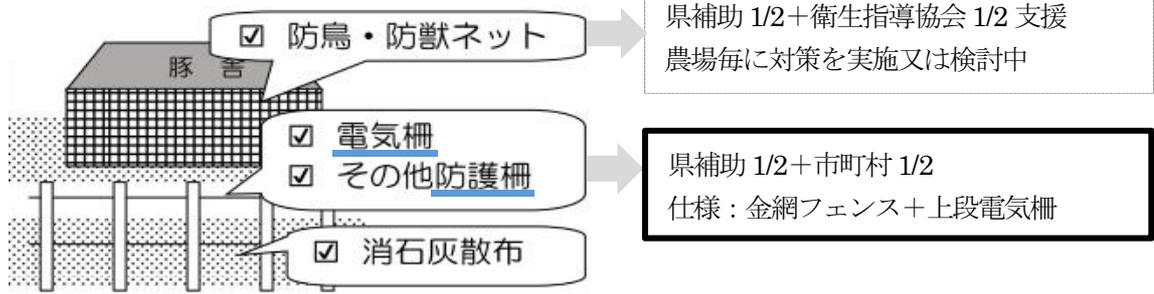
7.30 松本市で陽性



※上記①、②は県発表資料、③～⑩は報道等の資料から目安として表示したもの

3 養豚場における防疫対策の推進と対策を行う農家支援

(1) 長野県の防疫対策の方針



(2) 防護柵等の防疫対策を行う農家支援

○対象の養豚場 10 農場 (山本 3、千代 2、川路・竜丘・龍江・三穂・下久堅各 1)

○整備事業費：30,500 千円 **市支援額：15,250 千円 (事業費×1/2)**

参考 南信州 18 農場 (飯田市 10、松川町 2、高森町 2、豊丘村 2、喬木村・下條村各 1)

(3) 補正予算要求後の状況変化と対応の考え方

項目	内容	対応の考え方
国：防護柵等の整備に対する補助制度の新設	・防護柵等設置経費の 1/2 を国が補助する	・対象となる農場は国補助を活用 (国 1/2、県 1/4、市 1/4)
県：農場への消毒装置設置に対する補助の要請	・消毒装置の 1/2 を県補助補助残 1/2 の市町村支援	・上記、国補助の活用状況を踏まえて支援を検討する

4 野生イノシシ対策の推進と対策に要する経費

(1) 国のマニュアルに添ったウイルス感染確認検査の実施 (飯田市該当)

○死亡イノシシ 全頭検査

○捕獲イノシシ 調査対象区域 (陽性確認地点を中心に半径 10km) 内全頭検査

※感染確認検査等の実施期間を「少なくとも 28 日間」と定めているが、全国で終息の兆しが見えない状況から「当面継続」するとしており、今後も継続した検査対応が必要。

(2) 県の特別警戒指定区域におけるウイルス感染確認検査の実施 (飯田市該当)

特別警戒指定区域：飯田市、阿南町、天龍村、売木村、下條村、喬木村

飯田市のうち山本・竜丘・川路・千代・三穂地区が対象

○捕獲イノシシ 南信州地域全体で 5~10 頭/月を検査

(3) 経口ワクチンの緊急散布 (飯田市非該当)

○第 1 回 7 月 根羽村、平谷村で実施

○第 2 回 9 月 阿智村清内路周辺、阿南町天龍村周辺で実施

(4) 県の野生イノシシ拡散防止事業 (飯田市非該当)

○豚コレラ対策上、地形的に重要な箇所 (=防衛ライン) での重点的な捕獲活動

管内の防衛ライン 平谷~天龍：平谷村、売木村、阿南町、天龍村

清内路~南木曾：阿智村 (清内路)

(5) 調査対象区域 (10km 圏内) または特別警戒指定区域 (豚コレラのモニタリング強化地域) における捕獲者等支援 (特別警戒指定区域に飯田市該当)

○事業費 2,000 千円

○事業内容 消毒用機材等消耗品、検体の搬出機材購入、埋設処分地の確保、掘削・埋設作業実施、立会および埋設等補助のための臨時職員賃金